

# 村研 研究 通信

臨時ニュース

東京都世田谷区下馬町3丁目  
東京学芸大学  
社会学研究室内  
村落社会学研究会  
事務局  
1961年10月20日

本年度大会につきまして、在京協大委員会の討議の結果、次のように決定いたしました。

◇日時・場所については次のごとくに予定する。

日時 昭和三十六年十一月十七日

場所 静岡県御殿場市宇畑「国立中央青年の家」

泊り込みの場所は東京部内では求めることが困難であるばかりか、都内在住会員が転居してしまふのでは無意味であろうというところから、御殿場にきまつた。御殿場では場所柄からいって会員外の参加者を期待することはできないが、村研

も発定以来八年を経過し、最近いさか中々おの惑もあるのです。こころですこし会の今後のあり方について、ゆつくり検討しあう方がよいのではないかといいことになった。

ただし、青年の家は、青年所修施設で、設備は非常に整備されているけれども、その目的上、例年の泊り込み大会のような親睦会的气氛（「飲む会し」は望めない）会場、宿泊施設、食堂、風呂等の設備はととのっている。

◇課題は前回の通信に示した線で下すめ、ただし会員の希望（アンケート）や報告申し込みの内容からみて、現時点に問題が集中することになりうが、それもいたしかたないのではないかと。

現在まで希望の出ている報告は次のごとくである。

1. 最近の農民組織 —— 東北大 塚本・細谷
2. 農家共同化 —— 豊大 小池

- 3. 漁夫労組 — 教育大 中野・柿崎
- 4. 農協組織 — 東大ほか 松原・蓮見 園田

その後次の申し込みがあった。  
5. 東樹地帯の農氏組織

稲島大 菅野  
東北学院 青森

の各会員からであるが、(4)の申し込みがあった附  
係で、(4)は取りやめてよいとの申し出があった。

◇ 日程は、一月一八・九日の両日であるが、  
前日夕刻までに全員現地到着とし（青年の家では  
一七時までに必ず入寮するようになっている）  
オ一日目は箱から四本の報告と質疑を行い、夜総  
会、懇親会を両き。  
オ二日目は終日共同討議をし、夕刻解散すること  
とした。

以上でございますが、正確なプログラムは後程

の手元にとどくようにしたいと思えます。しかし  
会場とくに菅沼の申し込みの附係がございまして  
早のに出欠をとらなければなりませんので、折返  
し御返事をお願い致します。

場所ならびに交通の便については、あらかじめ  
御予定もございましょうから、次に記しておしま  
す。

9回大会 70  
1961

現地到着時間附近の列車時刻表

②

御殿場線	沼津発	15.04	16.11
	松田発	15.21*	16.28**
	御殿場着	16.12	17.18

\* 新宿発  
小田急急行

③

沼津線	沼津発	14.55	16.20
御殿場線	御殿場着	15.49	17.12

小田急直通

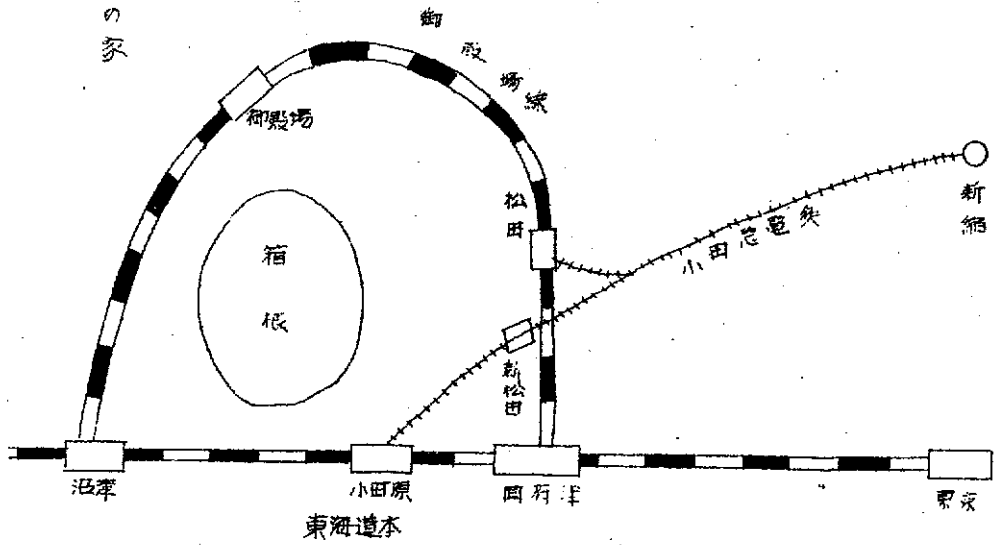
	< 津急 長尾 >	< 津急 長尾 >
新宿発	13.30	14.43
松田発	14.45	15.54
御殿場着	15.18	16.36

< 青年の家への交通 >

- 東京方面より
  - (a) 東京駅から国鉄東海道線 国府津 乗り換え 御殿場線御殿場下車
  - (b) 新宿駅から小田急電鉄 新松田下車 沼津松田駅より御殿場 (新宿-新松田間) 線利用。(小田急急行電車利用 / 時間10分~15分、新松田は毎時65分、35分、急行券不用)
  - (c) 新宿駅から小田急、御殿場線乗り入れ直通準急利用(松田以外には停車せず、準急券100円、御殿場下車)
- 岡西方面より
  - (a) 東海道線沼津より 御殿場線乗り換え
  - (b) " 国府津より "
- 御殿場から 青年の家への運送は、17日16時40分頃 出迎えバスを依頼することにした。(国府津からの列車 16.12着、沼津からの列車 15.49着、新宿から直通電車 16.36着)



青年の家



1017